

如水会井の頭支部 創立70周年記念 祝賀

くるみ さわ ゆたか
糊 澤 泰

この度は 井の頭支部 創立70周年を迎え おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。これも歴代のメンバーの皆様のご尽力によるものと深く感謝いたしております。

井の頭支部の創設

昭和27年12月 支部創立総会が開催され、初代支部長に一橋大学教授 上田辰之助が選任され、如水会より村田理事長が出席されました。出席者40名。昭和27年は 私が入学した年です。

支部長挨拶。

母校は1949年社会科学の総合大学として発足し、教育、研究 何れの方面でも活況を呈し、先生方々が一橋の伝統を高揚しつつあることはご同慶にぞんじます。母校の商経法社は他の総合大学の諸学部とは異なり、同一の学風に生命づけられ発展しています。そのために法社両学部の如きは、他所に見られない特徴あるものが出来上がりつつあり、その所産必ず刮目すべきものがあるとうと信じます。

当支部は地理的にも如水会と母校の中間にあり、架け橋ともなる訳で、幸い会員中には母校の先生方も大勢おられるのでこの面でも有効適切な支部として育成したい。国立と如水会との愈々密接なる連携を切望してやみません。と述べられました。

支部名は「井の頭支部」で、通常は市町村名が多いですが、武蔵野、三鷹地区には、江戸百景と言われる井之頭公園があり、桜、神田川の水源、徳川幕府の鷹狩等、歴史と話題のある公園名を取ったのは さすが と思います。

当日は電源ストの停電日で、議事は停電前に終わりましたが、続く宴会はローソクの光で開催したようです。

なお 2代目の支部長は 学長を務めた 大物 井藤半弥教授でした。

また 元総理大平正芳は 上田辰之助ゼミ出身です。

上田先生の自宅のあった吉祥寺東町に、先生ご夫妻の石版が建立されています。

渋沢栄一と井之頭公園

渋沢栄一は、常に国家社会全体を考え、幅広い活動をされ、特に経

濟面では 日本の資本主義を築いたわけですが、公益、社会福祉の仕事にも大変力を注ぎました。

明治5年に現在の井之頭動物園の地に「東京養育院感化部井之頭学校」を開設し、厚生のある少年の指導、自立支援、職能訓練等を手掛けました。その後養老院は東京市内に規模を広げ、栄一は亡くなるまで院長を務めていました。学校はその後東京都営の「健康長寿医療センター」として続いております。

また栄一は井之頭公園に井之頭学校を開設以来、東京市に熱心に公園を恩賜公園にするよう説得を続け、大正6年恩賜公園となりました。

「如水会井の頭支部」、「渋沢栄一の井之頭学校」、と両者の同じ井之頭の地での活動を思うと、何か一橋関係の深いゆかりと縁を感じます。

「晴天を衝け」の信州佐久と渋沢栄一。

渋沢栄一の生家は藍玉の製造、販売手掛けており、紺屋に販売していました。私の故郷 信州佐久、上田地区の農家は殆ど蚕を飼い、絹織物の生産が盛んな地域でありました。まだ10代であったが 栄一は佐久地区に出かけ紺屋に藍玉の販売をし、可成りの実績を挙げて

いました。

栄一は当時中国の古典を読みふけり、論語を学び、漢詩作りに熱中していました。

佐久に有名な漢学者「木内芳軒」先生が居られることを知り、訪ね、師事をお願いし、仕事の合間に尋ね、漢詩を学びました。

『晴天衝く』の言葉は、信州に行くときは、「内山峡」の険しい峡谷を、肘をまくって登り、青空を突き刺す勢いで進んだ、その時の心情を詠った力強い詩作「内山峡」の中で出てくる一節です。254文字の漢字のみで書かれた詩で、19歳の作とはとても思いません。

昭和15年、内山峡の長詩に感銘を受けた佐久の小林義助が、有志に呼びかけ、佐久市内山村の岩壁に詩碑を建立しました。

栄一の父は佐久へ出発の際「漢詩作りもいいけれど、商売もきちんとやってこいよ」と言っていたそうです。

栄一は「佐久は私の第二の故郷です」と何時も言っていたようです。

井の頭支部創立50周年

平成14年(2002年)井の頭支部は創立50周年を迎えました。

記念事業を検討。当時の支部長だった 勝田有恒 元一橋大学教授

と石弘光学長を訪れ、ご希望をお聞きし、学長の意向もあり、母校に「はなみづき」紅白2本を寄贈することに決定しました。

植樹の場所は図書館に向かって池の左側。兼松講堂を見渡す一等地を提供して頂きました。

場所柄 「はなみづき」とその説明の礎石は 目立つ所にあり、未永く来校者の皆さんの目にとまり、支部のアピール出来ることを願っています。山内進学長にお会いした時、「礎石立派な大きな石ですね！」と言われましたので、「学長が 石さん ですので大きい石を入れました」と答えたら「なるほど～」と笑いを浮かべていました。礎石は一寸高価でしたね。

「はなみづき」の映像



如水会井の頭支部 創立50周年記念植樹（国立キャンパス）前にて